

やまだんの 山田野

49

独立行政法人 北陸病院
国立病院機構

〒939-1893 富山県南砺市信末5963
TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

新任のごあいさつ



薬剤科長
進藤 和明

4月1日付で三重病院から薬剤科長として転勤してまいりました進藤和明（しんどうかずあき）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私は、NHKの大河ドラマの「麒麟がくる」にてでてる、岐阜城で有名な、岐阜県岐阜市の出身で、年齢は58歳です。（今の自宅は岐阜市外の岐南町ですが）

どうでもよい話から始めますが私の勤務歴はと申しますと、就職は昭和60年に東京の製薬メーカーが最初で、次に昭和63年に神奈川県に就職し、最終的に平成元年から国立病院・国立療養所に、平成16年から国立病院機構に、薬剤師としてお世話になっております。国立病院の勤務歴は、30年を超えたところですよ。平成9年10月から3年半ほど、厚生省（現在の厚生労働省）へ出向になり、霞が関官僚？ というのも経験させていただきました。単身赴任生活がほとんどで、21年超えとなりました。

私には娘が2人いて、単身赴任生活を始める前は、長女が小学校5年生、次女が小学1年生でした。単身赴任生活のなか、長女は5年ほど前に結婚し、次女は4年前に薬剤師になりました。まだ、単身赴任生活は続きますが、気持ちを新たにして（趣味に?）、頑張りたいと思います。

私の趣味は、釣りで川釣り（鮎）と海釣り（船）の両方をやっています。次女が小さいころ、お父さん（私）の仕事は漁師だと、そう思うほどの釣りキチでした。また、娘たちが小さい頃は、夜釣りにはまっており、“自宅のアパートの駐車場で事故で車が突っ込んできたのですが、夜釣りに出かけていて、いつもなら車が置いてあるのになくて無事だった”なんてこともありました。

さて、コロナウイルスの感染症が世間をにぎわしていますが、国立病院機構の病院の置かれている環境もますます厳しくなっています。医師や看護師の医療スタッフの不足のなか、収益向上のための努力が求められています。医療資源サービスを低下させることなく、薬剤師として、医療チームの一員として、医療の質の向上に努めたいと思います。スタッフ皆様のご指導がいただけますようお願い申し上げます。



副看護部長
山崎 悦子

皆さん。はじめまして、こんにちは。

4月1日付で金沢医療センターから赴任しました副看護部長の山崎と申します。どうぞよろしく御願いたします。

出身は静岡県の沼津です。沼津の魚も美味しいですが、日本海の魚はさらに美味しいですね。中でも、私は白海老が大好きです!!!

この春は、COVID-19感染症流行拡大に伴い、外出が制限され、お花見をすることもできませんでした。このような状況の中での着任はとても不安でした。しかし、北陸病院では広大な敷地にたくさんの桜の花が咲いていて、出迎えてくれているようで、私の心をほっこりとさせてくれました。

当院看護部の理念は「私たちは、患者さん一人ひとりと向き合い、専門性の高い看護を提供します」となっています。桜の花が私の心をほっこりとさせてくれたように当院の看護師一人ひとりが「桜梅桃李」のことばのように自分らしく、一生懸命に患者さんに向き合った看護ができるように支援をしていきたいと思っています。多種多様な違いは個性であり他の人になく魅力だと思います。自分らしい花を咲かせ、看護職員みんなと共に行動出来るよう取り組んでいきます。

1日も早く貢献出来るようにがんばりますのでどうぞよろしく御願いたします。



臨床検査技師長
浅香 敏之

4月1日付けで名古屋医療センターから当院、研究検査科に赴任することになりました臨床検査技師長の浅香 敏之です。よろしくお願いいたします。

出身は石川県です。これまで金沢医療センター、静岡医療センター、名古屋医療センターと比較的規模の大きな病院を渡り歩いてきました。臨床検査業務の中でも細菌培養検査、感染対策チームに多く関わっていました。転勤に伴い、20年ぶりの車通勤でこれまでとは何かと大きく環境が変わりました。また、当院は精神科、脳神経内科、心療内科、睡眠外来など、かなりの特殊性を持った病院です。検体検査、脳波検査、CPAP、PSGに関連した検査が主体となりますが、研究検査科スタッフとともにこの病院を支え、今までの経験を生かし臨床の要望に応えていきたいと思っています。



診療放射線技師長
安部 俊

はじめまして。4月1日付で名古屋医療センターから赴任いたしました診療放射線技師長の安部俊と申します。名古屋産まれの名古屋育ち。寒さはあまり得意ではなく、20年程前に山形県在住して以来の雪国に少々不安を持ちながら、病院敷地内の満開の桜に“歓迎されている”と良きに解釈して、人生で初めて足を踏み入れた富山での生活を送り始めました。

当院は認知症疾患、精神疾患、重症心身障がい、脳神経難病などを対象とする専門性の高い施設で、急性期の施設とはまた異なる責務に身の引き締まる思いであります。分野は違えども、診断可能な良質な画像を、できる限りの低線量で提供する事が診療放射線技師の努めであります。もとより微力ではございますが、これまでの経験を生かしまして更なる努力をする所存でございます。

新型コロナの早期の終息を強く願いつつ、大自然を満喫したいとも思っております。皆様どうぞよろしくお願いいたします。



業務班長
梅村 和生

この度4月1日付人事異動により北陸病院の業務班長として着任いたしました梅村和生と申します。

富山県での勤務は、以前に富山病院を一度勤務したことがありますが北陸病院は、初めての勤務となります。職場が変わると今までといろいろ違うこともあり、とても不安です。

さて、私ごとですが年をとると健康管理も重要だと実感しています。血圧や血糖値も高く、甘いものが好きな私にとって、食事の制限はとてもストレスです。新型コロナが流行となり外出も減りましたが北陸病院は、広大な敷地があり環境が豊かで、すばらしいところで、外を歩きますとウグイスの声に癒やされます。転勤を機に自己管理をもっとしっかりして、北陸病院の基本理念である「生命と人権を尊重し、思いやりに満ちた医療を良心と誠意をもって実践します。」ということで、少しでも早く皆様のお役に立てるように日々の業務を頑張ってまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

当院ご利用の皆様、地域関係者の皆様へ

この度、当院勤務の看護師が新型コロナウイルスに罹患して3月30日から指定医療機関に入院しました。その後PCR検査で2度の陰性を確認したのち幸いにも無事退院でき、引き続き健康観察を行いながら自宅療養となっています。

当院としては、当人から濃厚接触の疑いがあるとの報告を受けた3月30日から直ちに院内および宿舎などの消毒を徹底しました。さらに、院内で当人と濃厚に接触したと思われる入院患者の個室管理および職員の自宅待機をはじめ、入院患者・職員全員の健康管理を厳重に開始するとともに、厚生センターの指導で順次PCR検査を行いました。4月1日夜に12名、4月4日には20名と当該病棟に勤務する全ての職員が陰性であることが判明し、さらに、4月6日、7日にPCR検査を（濃厚接触者の2回目を含む）34名行い、4月9日合計66検体の陰性が確認されました。以上から院内感染は回避できたと考えられ、感染した看護師もしっかりと防御策を講じていたものと推察されました。

その後も最終接触から14日間は感染防御、症状観察、自宅待機などを継続するようにとの指導を厳守し、所轄の厚生センター、県、国立病院機構等と連携を図り、指示、支援をいただきながら、徹底した感染防御や詳細な症状観察などは現在も続けています。そして、4月13日からは通常の診療業務に戻しつつあります。皆様には大変なご心配、ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでしたがご理解とご協力をお願いいたします。

また、私自身、本年2月末には、厚労省および富山県、国立病院機構からの要請で、中国武漢からチャーター便で帰国した人々が待機していた施設へ富山県DPAT（災害派遣精神医療チーム）として、当院の2名の職員（看護師、事務職）とともに出向きました。そこでは、厚労省をはじめたくさんの省庁や自衛隊の若者や各自治体からのDMAT（災害派遣医療チーム）など多種多様な支援者が、国の安全を守ろうと、困っている同胞を救おうと、自らを感染の危険にさらしながらも昼夜を問わず互いに協力し合って活動していました。ところが、そういった活動に参加したスタッフに対して、帰郷後に厳しい風評被害が待ち受けていた所があったようです。この世に生を受け社会の一員として生きる過程で生老病死は避けられず、さらに自然災害、事故、そして感染などの危険も等しく降りかかるものであり、お互い助け合いながら皆で背負っていくしかないと思います。

今回、当院職員、その家族や出入りする多くの業者など関係者に広く感染の疑いがかけられて、誹謗中傷、差別などが発生しているようです。感染の拡大を防止するために不安を抱きながらも懸命に障がい者医療を支えようとしている一人ひとりに是非とも皆さんのお力添えをいただき、これまでと変わらぬ温かいご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和2年4月17日 国立病院機構北陸病院院長 坂本 宏

外来担当医表

項 目	月	火	水	木	金
精神科（初診）	石橋・坂本	志摩・坂本	池田・白石	松下・白石	市川・岩戸
精神科（再診）	松下・市川	白石・池田	石橋・志摩	市川・岩戸	池田・松下
脳神経内科	吉田	小竹	吉田	吉田・小竹	小竹
内 科	渡辺	渡辺	中村(渡辺)	(渡辺)	(渡辺)
心療内科			白石		
睡眠外来（初診）			細川	1・3細川、2・4古田	
睡眠外来（再診）	吉田	細川	細川		
専 門 外 来	もの忘れ外来（吉田・坂本・市川・池田） パーキンソン病外来（吉田・小竹） 遺伝カウンセリング外来（小竹） 認知行動療法外来（うつ、不眠）（白石） 重症心身障害児<者>外来（石崎） 禁煙外来（白石） 認知症セカンドオピニオン外来（吉田）				
●診察は完全予約制となっております。地域医療連携室にご相談ください。 ●受付時間・・・8:30～11:30 診療時間・・・8:30～12:00 【地域医療連携室 直通電話】0763-62-1950					
デイケア	担当：岩戸				
担 当 医	志摩・岩戸	志摩・岩戸	志摩・岩戸	志摩・岩戸	志摩・岩戸

※ 担当医が不在の場合、当日主の再診医（午前）

看護職員 急募

- *常勤看護師
- *非常勤看護師…… } 時間・曜日などは要相談
- *非常勤看護助手… } (週28～32時間内)

採用試験は随時行っています。

病院見学大歓迎！

元気に働ける方、大募集!!!
私たちと一緒に『北陸病院』で
お仕事しませんか。

平日10時から
実施しています。

時間は
要相談



連絡先 独立行政法人国立病院機構北陸病院 庶務班長

〒939-1893 富山県南砺市信末5963
TEL: 0763-62-1340 (代表)

【交通アクセス】

◆交通機関

JR城端線、城端駅より、タクシーで約5分。

◆高速道路

東海北陸自動車道、福光ICより約5分。

◆南砺市コミュニティバス

JR城端駅・福光駅より出ています。



独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hokuriku/>

認知症疾患医療センター

睡眠医療センター

【編集・発行】北陸病院

【広報担当】池田・山崎・岡島・梅村